

令和 7 年度

**「運営に関する計画」
計 画**



**大阪市立平尾小学校
令和 7 年 4 月**

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安心・安全な教育】

前教育振興基本計画（以下＝前計画）を踏まえた【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】での中期目標である「規範意識」「生命の尊重」「学校からの発信」について、いずれも目標を達成した。また、令和3年度全市共通目標である「いじめの解消」「規範意識」「暴力行為」「不登校」について、いずれも目標を達成した。

それらの目標達成の主因は、子どもの自己肯定感の高まりを重視した指導の成果と言える。自己肯定感は、子どもが達成感と所属感を繰り返し味わうことで高まるととらえ、その共通理解のもと、互いの頑張りやよさを認め合う活動、自分の思いをよりよく伝える方法を考える活動などを工夫し、継続して取り組んだ。また、生活指導、いじめ対策の定期的な会合においても自己肯定感に関連した情報共有を行い、全教職員による指導を継続した。それらの結果、互いを支え認め合える集団が育てることができた。

自己肯定感の高まりを重視し、互いを支え認め合える集団の育成を継続していくことが、安心・安全な教育を推進する要諦と考えている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

前計画を踏まえた【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】での中期目標である「わかりやすい授業」「深め広げる話し合い活動」「生活習慣」「運動志向」について、いずれも目標を達成した。令和3年度全市共通目標である経年調査における相対的な数値については目標達成できなかったが、課題とした運動は記録を更新できた。

それら目標達成の主因は、子どもの主体性を重視した指導の成果と言える。令和2年度では、子どもの実態を踏まえた授業改善を推進するために、国語科を中心とした指導法の研究、一人一授業（全教員が公開授業を実施）の取り組み等を行った。また、コロナ禍における子どもの保健指導、給食指導、体育指導等に注力し、子どもの健康に対する意識を高めた。それらの結果、子どもの学力向上への意欲を高め、健康に関する基本的な生活習慣、体力を向上させることができた。

子どもの学力向上に向けて主体的対話的で深い学びに向けた授業改善と、健康に関する意識を高める保健指導、給食指導、体育指導等の継続と工夫が課題である。

【学びを支える教育環境の充実】

ICTの活用について、本校では大阪市の方針に基づき段階的に導入し、その有効活用を図ってきている。令和2年度には、全学級において大型モニターを使用したデジタル教材の活用ができた。令和3年度には一人一台タブレットの導入を円滑に推進した。同年8月には、子どもが毎日タブレットを持ち帰るシステムを構築し、授業と家庭学習で活用できるようにした。今後も、ICTの活用に積極的に取り組み、子どもの学習を充実させることが課題である。

令和3年度学校協議会において、保護者や教職員にとって過度な負担がなく、それぞれが健康であることが「子どもにとってよりよい環境」ということについて了解を得られた。教職員の働き方改革とともに保護者の負担軽減という視点で、学校行事を中心に教育活動を見直し始めている。この見直しを継続し、保護者、教職員に過度な負担のないように教育活動を工夫し実践していくことが課題である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(R3学調 78.3%、校内 83.0%) (R6学調 68.1%、校内 86%)
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
(R3学調 67.2%、校内—) (R6学調 63.9%、校内 86%)
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
(R5 0%) (R6 25%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上(1)】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率5割以下の児童を、令和3年度より10ポイント減少させる。
(R3学調 5割以下 国語 53.1% 算数 45.3%)
(R6学調 5割以下 国語 23.8% 算数 25.6%)
- 令和7年度の小学校経年調査及び校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を35%以上にする。
(R3経年 28.8%、校内 26.0%)
(R6経年 36.2%、校内 44.3%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上(2)】

- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び校内調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を63%以上にする。
(R3全運調男子 80%女子 41.7% 校内（男女） 61%)
(R6全運調男子 100%女子 70.0% 校内（男女） 91%)
- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合、および校内調査（保護者）を令和7年度調査において86.0%以上にする。
(R3学調 朝食 92.2% 就寝 79.7%、起床 87.5%、R3校内調査（保護者） 90%)
(R6学調 朝食 89.3% 就寝 78.7%、起床 87.3%、R6校内調査（保護者） 85.8%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を85%以上にする。
(R3校内調査 —)
(R6校内調査 77.2%)
- ゆとりの日を月5回設定する。学校閉庁日については、夏季・冬季休業期間中を合わせて5日以上設定する。
(R6 ゆとり 5日/月 閉庁 12日)
- 令和7年度末の校内調査において、児童一人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和3年度より2冊増加させる。
(R3 29冊) (R6 47.4冊)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (R6 79.8%)
- ② 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。 (R6 82.2%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を37%以上にする。 (R6 経年 36.2%、校内 44%)
- ② 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を74%以上にする。 (R6 経年 73.1%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く] (R6 2.3%)
- ② 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68.5%以上にする。 (R6 68.4%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立平尾小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【安全・安心な教育の推進】 年度目標	達成 状況
<p>① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (R6 79.8%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。 (R6 82.2%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】 いじめや暴力行為・不登校傾向が見られる児童の実態を把握し、学校内外の連携をしながら課題解決に向けた取り組みを進める。</p> <hr/> <p>指標 ・月に1回以上生活指導部会及びいじめ対策委員会・児童理解のためのネットワークを開き、児童の実態や生活面に関する意見交換の場をもち、全教職員の共通理解を図るとともに手立てを考え実践を進める。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 一人ひとり児童が力を発揮し、その良さを認め合える集団づくりをめざす。</p> <hr/> <p>指標 ・学級経営を充実させるため、毎学期、学級目標の実現に向けて係、当番表の役割分担を行う。 ・子どもの自己肯定感を高め、互いに尊重する意識を育てるための教職員研修の機会を年に2回以上設ける。(校内人権研修会実施・大正区人権教育実践交流会参加)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点

大阪市立平尾小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【未来を切り拓く学力・体力の向上】 年度目標	達成 状況
<p>① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を37%以上にする。 (R6 経年 36.2%、校内 44%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を74%以上にする。 (R6 経年 73.1%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進 捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 自分の考えを深めたり広げたりするための話し合い活動を取り入れた授業研究を実践する。</p> <hr/> <p>指標 ・ 12月までに年間6回以上、自分の考えを深めたり広げたりするための効果的な話し合い活動についての研修会を行い、教員の指導力向上を目指す。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 体育指導を充実し、運動と健康についての意識を向上させる。</p> <hr/> <p>指標 ・ 運動場、体育館の体育倉庫の整備を年間3回以上行う。 ・ 児童の運動に対する関心を高めるため、「新体力テスト」「なわとびタイム」を実施する。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>後期への改善点</p>

大阪市立平尾小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【学びを支える教育環境の充実】 年度目標	達成 状況
① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く] (R6 2.3%) ② 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上で維持する。 (R6 95.2%) ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68.5%以上にする。 (R6 68.4%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【基本的な方向6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 学習者用端末、大型モニターなどの ICT 機器を活用した指導を工夫し実践する。 指標 ・学期に1回、学習者用端末の技能を向上させるために『ICT 週間』を作る。また、実践した内容を校内で実践交流を行う。	
取組内容②（基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり） ゆとりの日や学校閉庁日の設定、学校行事実施時間の短縮などにより、働き方改革を推進する。 指標 ・ゆとりの日を月に5回設定する。（月に1回定時退勤を設定する。） ・学校閉庁日については、夏季・冬季休業期間中を合わせて8日以上設定する。	
取組内容③【 基本的な方向8 生涯学習の支援】 読書指導、学校図書館の運営などを工夫して、読書への関心を高める。 指標 ・図書委員会で毎月おすすめの本を紹介する。 ・児童が図書館に関心をもてるように主幹学校司書が随時行事を行う。またその取り組みを図書館だよりで紹介することで図書館に関心を高める。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点

